

# 中国語の結果補語になる動詞の選択制限

Selectional Restrictions on Verbs as Resultative Complement  
in Mandarin Chinese

横山 昌子

## はじめに

「動詞－結果補語複合語」(以下、VRと呼ぶ)は、第一動詞(V)に持続動詞が用いられ、結果補語(R)に形容詞、または動詞(主として非意思性自動詞(非対格動詞))が用いられ動作の結果を表す。結果補語として生起する形容詞と動詞の分布としては、形容詞の数が多く、動詞は限られていると指摘されている(朱德熙1982、Chao1968)。では、結果補語になる動詞はどのような動詞に制限されているのか。結果補語になれる動詞となれない動詞はどのような特徴によって区別されるのか。本論では、『汉语动词－结果补语搭配词典』(1987, 王砚农、焦群、庞颀编)(以下、『搭配词典』と略記する)に収録されている組み合わせの中から結果補語に動詞が用いられているものを考察の対象とし、これらの動詞について内部の時間特徴、語彙的意味特徴の観点から、結果補語になる動詞の制限性について論じる。

## 1 動詞内部の時間特徴

松村(2017)は、結果補語としてよく用いられる動詞として朱德熙(1982)が挙げている動詞“走、跑、动、倒、翻、病、疯、死、见、懂、成、完、通、

穿、透”を取り上げ、これらの動詞の内部の時間特徴について詳しく分析している。松村は、中国語の動詞の内部形式を「動作の始まり ( $V_\alpha$ )」と「動作の終わり ( $V_\beta$ )」で構成されるものと定義し、動詞の基本形式を「 $V_\alpha V_\beta$ 」と設定した。これに基づくと、持続動詞は  $V_\alpha$  として出現し、瞬間動詞は  $V_\beta$  として出現する。また、“踢倒”のような動補構造 (VR) は、“踢”が「動作の始まり」を、“倒”が「動作の終わり」を表すため、 $V_\alpha V_\beta$  として出現する。出現形式は異なるが、内部形式としては、持続動詞が「 $V_\alpha (V_\beta)$ 」、瞬間動詞が「 $(V_\alpha) V_\beta$ 」、VR が「 $V_\alpha V_\beta$ 」なので、動詞を共通の構造として規定できる。さらに、この規定により、VR の V には  $V_\alpha$  の意味特徴を持つ動詞 (持続動詞) が生起し、VR の R には  $V_\beta$  の意味特徴を持つ動詞 (瞬間動詞) が生起すると仮定できる。具体的分析では、上記の動詞を、 $V_\alpha$  と  $V_\beta$  の両方に出現しえる A 類 “走、跑、动、倒、翻” と  $V_\beta$  にのみ出現する B 類 “病、疯、死、见、懂、成、完、通、穿、透” に区分し、A 類の動詞が  $V_\alpha$  と  $V_\beta$  に出現するときにはそれぞれ意味が異なると述べている。このように松村は、動詞の内部形式を設定することで、VR の V になれる動詞は  $V_\beta$  の位置には生起できず、R になれる動詞は  $V_\alpha$  の位置には生起できないことを論理的に示した。すなわち、持続動詞の性質を持つ動詞は  $V_\beta$  の位置には生起できず  $V_\alpha$  の位置に生起し、瞬間動詞の性質を持つ動詞は  $V_\alpha$  の位置には生起できず  $V_\beta$  の位置に生起する。しかし、松村の分析には、いくつかの疑問がある。第一に、VR の R には瞬間動詞ではない動詞も用いられる。以下、『搭配词典』からの例文引用はページのみ記す。

- (1) 小朋友们把她骂哭了。(216)  
(子供たちが彼女を罵って泣かせた。)
- (2) 他的一句话把大伙儿都逗笑了。(346)  
(彼の一言が皆を面白がらせて笑わせた。)
- (3) 一夜之间，我们把传单撒遍了全域。(12)  
(一夜のうちに、私たちはビラを全域にくまなくばら撒いた。)
- (4) 那次飞机轰炸，他的腿被炸残了。(18)  
(あの時の空爆で、彼は足に障害を負った。)

(5) 他吃惯了辣椒，顿顿饭菜里都想放。(152)

(彼はとうがらしを食べなれてしまって、毎回の食事に入れたくなる。)

第二に、松村は“病”について、結果補語の“完”を付けられず、時量補語を伴うときに発生後の経過時間を表すため、 $V_\alpha$ になれず $V_\beta$ として機能すると述べているが、“病”は $V_\alpha$ としても機能することができる。

(6) 由于经受不住这样沉重的打击，她病倒了。(75)

(このようなひどい仕打ちに耐えられなかったので、彼女は病気で倒れた。)

(7) 他着了凉，病了三天。(《现代汉语词典》)

(彼は風邪をひいて、三日間寝込んでいる。)

このように“病”は、松村の分類したA類の動詞とは異なり、 $V_\alpha$ と $V_\beta$ に出現した場合の明確な意味上の違いが確認できない。

第三に、松村は“見”、“懂”、“成”、“完”、“通”について、 $V_\beta$ の位置に生起しうることから瞬間動詞の性質を持つと述べているが、これらのうち“懂”は“醒”のような瞬間動詞とは異なる特徴を持つ。

(8) a. 你懂不懂？我不懂。

(わかりますか？ わかりません)

b. \*你醒不醒？我不醒。

(\*目覚めますか？ 目覚めません)

第四に、松村は“完”を伴えない動詞は、 $V_\alpha$ の位置には生起しえないとしているが、 $V_\alpha$ に生起する動詞がすべて“完”を伴えるとは限らないため、“完”を伴えるかどうかで持続動詞か瞬間動詞かを判断できない。

(9) \*忘完 / \*累完 / \*急完 / \*饿完

本論では、VRの形式を $V_\alpha V_\beta$ と設定した松村の理論は、一部の動詞だけが結果補語になれる理由を説明するために有効であると考えるが、前述で述べたいくつかの疑問点については議論の余地がある。これらの疑問を解決するために、朱徳熙が挙げている動詞以外のより多くの動詞について、具体的例文データを考察することにする。考察の対象としては、『搭配词典』に収録されている語の中から動詞が結果補語となっているものを取り上げる。

## 2 『搭配词典』に収録されている結果補語の分類

### 2.1 『搭配词典』の構成

『搭配词典』では、結果補語を見出し語とし、さらに語義が異なるものについては項目として下位分類している。収録されている結果補語には、いくつかの問題点がある。一つは、一般には方向補語とされている“进、出、上、下、过、起、开”と補語の位置に用いられている介詞“在、给”が含まれていることである。もう一つは、“出格儿、走调儿”などの複音節形式の離合詞が含まれていることである。本論では、方向補語と離合詞はそのまま含め、“在、给”を考察の対象から除外することにする。収録数は、合計で見出し語が324個、語義別の項目が420個（除外項目除くと、見出し語322個、項目412個）である。これらの結果補語は形容詞と動詞に大別できる。本論で動詞として抽出した語の数は、見出し語が125個、下位分類項目が163個である。

### 2.2 結果補語になる動詞の下位分類

『搭配词典』に収録されている結果補語の中から抽出した動詞を時間特徴の角度から考察すると、“爆、掉、断、到、垮、灭、破、死、塌、醒”などのいわゆる瞬間動詞以外に、“懂、惯、明白、怕”などの状態動詞や、“飞、哭、笑”のような活動動詞が含まれていることがわかる。動詞の持つ時間特徴の違いにより動詞を分類できるという考えは、Vendler (1967) の4分類に代表される。Vendler は、[±動態][±持続][±完了]の時間特徴の観点から動詞を状態(state)、活動(activity)、完結(accomplishment)、達成(achievement)の4つに分類した。中国語の動詞の時間特徴に関する研究としては、陈平(1988)、龚千炎(1995)の論述がある。陈平は、[±静態][±持続][±完了]の時間特徴に基づき、動詞を中心として表される文の「場面タイプ」(陈平は、場面タイプが持つ時間概念を「時相」と定義している)を状態、活動、完結、複変、単変の5つに分類している。一方、龚千炎は、[±静態][±動態][±持続/進行][±完了]に基づき文を状態、活動、完結、達成の4つの「場面タイプ」

に分類している。陈平、龚千炎は、それぞれの「場面タイプ」に現れる動詞の類を提示し典型的動詞を列挙している。動詞の分類方法にはさまざまな基準があるが、本論では、動詞の持つ時間特徴を基準に分類した。動詞の下位分類については、陈平(1988)、龚千炎(1995)において各場面タイプに分類されている動詞の特徴に依拠し、状態場面に生起する動詞を状態動詞、活動場面に生起する動詞を活動動詞、達成場面に生起する動詞を瞬間動詞に大別した。本論におけるこれらの動詞の定義と分類の基準については、次のように規定する。また、それぞれの動詞の形式表記については、松村が動詞内部の「始まり」と「終わり」の「2個の計算プロセス」として示した  $V_{\alpha\beta}$  の表現式を引用する。

## 2.2.1 瞬間動詞、状態動詞、持続活動動詞の定義

### ① 瞬間動詞

瞬間動詞は、瞬間的に終わってしまう動作を表す。動的で変化の概念を含むが、動作は始まりと共に終わるため動詞内部の時間点は開始点と終息点が重なり合っている。動詞が内部に始まり ( $\alpha$ ) と終わり ( $\beta$ ) を持つことを形式化して  $V_{\alpha\beta}$  と表記すると、瞬間動詞では始まりは計算されず、終わりのみ計算されるので、 $V_{01}$  の形式を持つ。

### ② 状態動詞

状態動詞は、非動的 (= 静的) なため時間の経過とともに変化せず、恒常的な状態を表す。状態動詞は、判断、存在、属性などさまざまな関係を表す「関係動詞」、心理活動を表し動作を伴わない「心理活動動詞」、生理的状态を表す「生理状態動詞」<sup>1)</sup>、人の姿態や物の位置を表す「姿態定位動詞」に分けられる。静的な持続過程の特性は持つが、始まりと終わりは計算されないので、 $V_{00}$  の形式を持つ。

### ③ 活動動詞

活動動詞は、動的で動作が終息点に向かって持続することを表す。しかし、内部に終息点を持たないため理論的には永遠に持続する。動作の動的持続は、状態の静的持続とは異なり、時間の経過とともに変化する。活

動動詞は、内部に終息点をもたず、「始まり」のプロセスのみが計算されるので、 $V_{10}$  の形式を持つ。

## 2.2.2 動詞の分類における判断基準

### ① 瞬間動詞

瞬間動詞は、持続の概念を含まないため、進行時態を表す時態副詞“在 / 正在”と持続時態を表す時態助詞“着”と共起できない。時量補語を伴う場合は、動作行為の持続時間を表すことができず、動作終息後の結果状態の持続時間を表す。

### ② 状態動詞

状態動詞は静態性の強弱によって時態成分、時量補語との共起関係が異なる。関係動詞は基本的に時態成分、時量補語と共起しない。心理活動動詞の多くは、“了”、“过”は伴えるが“在 / 正在”、“着”と共起できない。一部の心理活動動詞のみ時量補語を伴い持続時間を表せるが短時間の特定時間量を表せないなどの制限がある（恨了我三年哪 / \*恨了我十分钟<sup>2)</sup>）。姿態定位動詞は“挂”や“躺”などの活動動詞に“着”を伴い用いられるが、“在 / 正在”とは共起できない。ただし、姿態定位動詞が伴う“着”は本論では時相レベルで用いられる成分と捉え時態成分とは見なさない。“病”などの生理状態動詞は、“在 / 正在”、“着”と共起できない。このように、状態動詞は各下位類で時間特徴に違いがあるが、総じて“在 / 正在”、“着”と共起できず、時量補語を伴える動詞の場合は持続時間を表すことができる。

### ③ 活動動詞

活動動詞は、動的持続の特徴を持つため、進行時態を表す“在 / 正在”と持続時態を表す“着”と共起できる。時量補語を伴う場合は、動作行為の持続時間を表す。

## 2.3 結果補語になる動詞の抽出

『搭配词典』から結果補語になる動詞をすべて抽出し、前述の定義に基

づき下位分類する。結果補語の品詞（動詞または形容詞）の判断については、『現代汉语词典（第7版）』（2016）と『白水社中国語辞典』（2002）の記載に従った。判断の分かれるものについては『現代汉语词典』を採用した（『白水社中国語辞典』において形容詞とされているものには語の右上に\*を付す。複数の意味のある動詞については語の後ろに数字を付し個別の項目として立てる。

### ① 瞬間動詞

爆（破裂する）、崩（破裂する）、绷（はじける）、沉（沈む）、成1（なる）、成2（成し遂げる）、抽（縮む）、出1（出る）、出2（現れる）、出格1（度を超す）、出格2（枠をはみ出る）、出圈（度を超す）、穿（突き通す）、串（（本の行などを）とばす）、倒1（倒れる）、倒2（（精神的に）まいる）、到1（ある場所へ達する）、到2（ある時間まで続く）、到3（目的が達成する）、到4（深刻な程度に達する）、到5（一つになる）、到6（～に関係する）、到底1（最後までやり抜く）、到底2（底まで達する）、到手（手に入れる）、到头（極限まで達する）、倒dao（逆になる）、颠倒（逆さまになる）、掉1（落ちる）、掉2（なくす）、定（固定する）、丢（失う）、动（動く）、断（折れる）、翻1（ひっくり返る）、过1（超える）、过2（過ぎる）、化（溶ける）、昏（気を失う）、豁（割れる）、火（怒る）、见（（感覚・知覚・臭覚などを）感じ取る）、尽（尽きる）、进（入る）、卷（巻く）、绝\*（すっかりなくなる、尽きる）、开1（分離する）、开2（開く）、开3（～しだす）、开4（広がる）、开5（沸く）、开6（（茶などの成分を）抽出させる）、开7（収まる）、开8（広げる）、垮（崩れる）、落（もれる、抜ける）、裂（裂ける）、流血（血が出る）、漏（漏れる）、满2（一定の期限に達する）、灭（消える）、趴下（（疲れて）まいってしまう）、跑（逃げる、抜ける）、披（裂ける）、破（破れる）、起1（起きる、上げる）、起2（～し終える）、起3（～し始める）、洒（こぼれる）、散sàn（散る、散らばる）、上1（上がる）、上2（～し始める）、上3（～し終える）、折（折れる）、撕（裂ける）、死1（死ぬ）、碎1（砕ける）、碎2（心が砕ける）、塌（倒れる）、通1（通る、貫通する）、透3（通る、突き抜ける）、完（なくなる、終わる）、瞎2

(失明する)、下1 (下りる、落ちる)、下2 (そのままにしておく、後にとどめる)、下3 (収容できる余地がある)、响 ((音が) 鳴る)、醒 (目覚める)、晕 yūn2 (失神する)、砸 (失敗する、台無しになる)、炸 (爆発する)、胀 (ふくらむ、(腹が) 張る)、着1 (達成する)、着2 (接触する)、着3 ((火が) つく)、着4 (寝つく)、中 (当たる)、住1 (固定する)、住2 (止まる)、走 ((ある場所から) 離れる) 走调儿 (調子が外れる)、走样儿 (本来の姿・形を失う)、走嘴 (口を滑らせる)。

## ② 状態動詞

遍 (あまねく行き渡る)、病 (病気になる)、残 (不完全である)、残废 (体が不自由になる)、岔气 (脇腹が痛む)、重 (重なる)、出神儿 (ぼんやりする)、得 (出来上がる)、懂 (わかる)、痴\* (気がおかしくなる)、服 (心服する)、够1 (足りる、十分ある)、够2 ((一定の程度を超えて) 嫌というほど (~する))、惯 (慣れる)、寒心 (がっかりする)、糊\* (焦げる)、黄2 (だめになる)、会 (できる、熟達している)、混 (混ざる)、活 (生きている)、活动 (ぐらぐらする)、就绪 (軌道に乗る)、愣 (ぼんやりする)、没 (ない)、蒙 (ぼうっとする)、明白 (わかる)、恼\* (怒る)、怕 (恐れる)、赔 (損をする)、清\* (きれいさっぱりとする、少しも残らない)、瘸\* (足が不自由である)、入迷 (夢中になる)、散 sǎn (ばらばらになる)、散架 (骨組みがばらばらになる)、伤1 (傷つく)、伤2 ((度を過ぎて) 嫌になる)、上当 (騙される)、上瘾 (癖になる)、剩下 (残る)、输 (負ける)、顺1 (方向が同じである)、顺2\* (順序に沿う)、通2\* (わかる)、习惯 (慣れる)、瞎2\* (もつれる)、厌烦 (飽き飽きする、嫌気がさす)、晕 yūn1 (めまいがする)、晕 yūn (頭がくらくらする)、肿 (腫れる)、皱 (しわになる)、醉 ((酒に) 酔う)。

## ③ 活動動詞

嘀咕 (気に掛ける)、动 (動く)、飞1 (飛ぶ)、飞2 (ひらひら舞う、飛び散る)、哭 (泣く)、睡 (眠る)、笑 (笑う)、转 (回る)、翻2 (仲たがいする)。



### 3 結果補語になる動詞の結合性

結果補語になる動詞には、多くの動詞と結合できるものと限られた動詞としか結合できないものがある。これは、結果補語が持続的動作の終わりを表示するという役割以外に、それ自身が語彙的意味を持っているためである。主動詞 (V) の側から見るならば、主動詞の結果状態として出現することが可能な意味を持つ補語が選ばれる。逆に、結果補語 (R) の側から見るならば、結果補語になる動詞や形容詞には、原因となる事態の可能性が内在しているといえる。つまり、結果補語になる動詞の結合性の違いは、その動詞に内在する可能な原因事態の集合 (領域) の要素の数的差異であると捉えられる。

李臨定 (2011) は、VR は発展段階の観点から見ると三つの状況があると述べ、(一) 結果補語が虚詞化して結合領域が広いもの (透、中、穿、着、成、定、住など)、(二) 主動詞と結果補語が緊密に結合し、それぞれの語の語彙的意味が不明瞭となり複合語と見なせるもの (拒絶、注定、改善、改良など)、(三) 主動詞と結果補語の結合がゆるく拡張でき、それぞれの語の語彙的意味が結合後も変化しないもの (VR 構造) に分けている。これらのうち、(二) の結合が固定的な VR 複合語は『搭配词典』には収録されていないため、本稿の考察の対象には含まない。結合性の観点から見れば、これらは一対一の結合になっているといえる。(一) で挙げられている虚詞化している結果補語は、語彙的意味が抽象化され主動詞が表す動作の終わりを表しているため、多くの動作動詞と結合できる。李臨定は (三) に属する結果補語の結合性については言及していないが、虚詞化されていない一般的な結果補語にも結合性に違いがある。

以下では、『搭配词典』に収録されている結果補語について結合性の観点から具体的に考察する。

#### 3.1 虚詞化している動詞性結果補語

まず、李另定が虚詞化している結果補語として挙げている語について、『搭配词典』に収録されている主動詞との組み合わせを列挙し、結合性の

状況を考察する。組み合わせの収録数は括弧くゝの中に示す。

### 3.1.1 透 1 <9>、透 2 <7>、透 3 <6>

『搭配词典』では、“透”は“透1”（十分な程度に達している）、“透2”（透徹している、はっきりしている）、“透3”（通す）の項目に分かれている。本論では、透1、透2を形容詞に分類したため、“透3”のみを動詞性結果補語の総数に計上している。“透3”の組み合わせ例としては“穿透、吹透、钉透、磨透、扎透、钻透”が挙げられている。“透3”が結果補語になるVRが用いられている文としては、次のような例がある。

(10) 子弹穿透了玻璃，但是没有伤着人。(318)

(銃弾がガラスを突き抜けたが、だれも傷つけていない。)

(11) 钉子这么短，墙那么厚，怎么能钉透呢！(318)

(釘がこんなに短くて、壁がこんなに厚いだから、釘を打ち通せるわけがない！)

### 3.1.2 中 <10>

“中”（当たる）が結果補語となる組み合わせ例としては、“刺中、打中、罚中、击中、看中、射中、挑中、投中、相中、选中”がある。例文としては、次のような文がある。

(12) 他一拳击中了对方的头部，把对方打倒在地，赢得了比赛的胜利。

(386)

(彼のパンチが相手の頭に命中して、相手を床に倒し、試合の勝利を勝ち取った。)

(13) 昨天我选中了一块花布，因为钱带得不够没买成。(386)

(昨日私は一枚の模様のある布を選び出したが、お金が足りなかったので買えずじまいだった。)

### 3.1.3 穿 <9>

“穿”（突き通す）の組み合わせ例としては、“叉穿、刺穿、打穿、滴穿、

釘穿、看穿、说穿、凿穿、扎穿”がある。例文としては、次のような文がある。

(14) 子弹打穿了他的胸膛，他应声倒了下去。(59)

(銃弾が彼の胸を打ち抜いて、彼は声を上げながら倒れこんだ。)

### 3.1.4 着 1 <32> 着 2 <27>、着 3 <3>、着 4 <2>

“着 zhāo”は、“着 1”（達成する）、“着 2”（接触する）、“着 3”（(火がつく)）、“着 4”（寝つく）の項目に分類されている。“着 1”の組み合わせ例としては、“崩着、查着、打着、得着、逮着、等着、钓着、订着、堵着、翻着、雇着、见着、接着、借着、砍着、捞着、买着、摸着、弄着、晒着、射着、掏着、套着、踢着、闻着、问着、要着、迎着、找着、抓着、追着、租着”がある。例文には、次のような文がある。

(15) 那个孩子逮着了一只蚂蚱。(378)

(その子供は一匹のイナゴを捕まえた。)

“着 2”の組み合わせ例としては“碍着、踩着、蹭着、电着、冻着、叮着、顶着、够着、挤着、磕着、拉着、淋着、碰着、切着、求着、惹着、捧着、烫着、挖着、熏着、轧着、咬着、遇着、砸着、蜇着、撞着、坐着”がある。例文には、次のような文がある。

(16) 对不起，又踩着你的脚了。刚学跳舞，舞步总跳错。(379)

(ごめんない、またあなたの足を踏んじやった。ダンスを習ったばかりだからステップをいつも間違える。)

“着 3”の組み合わせ例としては“点着、划着、烧着”があり、次のような例文が挙げられている。

(17) 她点着了煤气，不一会儿就把饭做好了。(381)

(彼女はガスを付け、間もなくご飯を作り終えた。)

“着 4”の組み合わせ例としては“哄着、睡着”があり、次のような例文がある。

(18) 他累了一天，刚躺下就睡着了。(381)

(彼は一日中働き通しだったので、横になるとすぐに眠りについた。)

### 3.1.5 成 1 <122>、成 2 <9>

“成”は、“成 1”（なる）、“成 2”（成し遂げる）の項目に分類されている。“成 1”の組み合わせ例としては、“安装成、熬 āo 成、熬 áo 成、摆成、掰成、扮成、绑成、包成、比画成、编成、变成、病成、布置成、擦成、猜成、拆成、铲成、唱成、抄成、处理成、穿成、凑成、攢成、搓成、搭成、当成、订成、剃成、饿成、发展成、翻译成、分成、改成、改编成、盖成、隔成、管成、惯成、划分成、画成、糊成、换成、急成、剪成、减缩成、简化成、建成、建设成、系成、浇成、教育成、接成、结成、锯成、卷成、撇成、砍成、看成、哭成、捆成、垒成、累成、乱成、擦成、磨成、磨炼成、念成、酿成、捏成、拧成、扭成、弄成、沏成、排成、胖成、喷成、劈成、欺负成、漆成、骑成、气成、染成、绕成、揉成、删改成、烧成、瘦成、梳成、摔成、说成、撒成、烫成、踢成、剃成、听成、团成、围成、洗成、吓成、响成、想成、写成、压成、腌成、养成、译成、印成、砸成、糟蹋成、造成、炸成、长成、煮成、铸成、转变成、装成、追成、钻成、攥成、醉成、折磨成”がある。“成 1”を用いた例文には、次のような文がある。

(19) 工人们用盆花摆成了一个五色缤纷的花坛。(27)

(労働者たちは鉢植えを並べて色とりどりの鮮やかな花壇にした。)

“成 2”の組み合わせ例としては、“办成、促成、干成、画成、建成、去成、学成、研制成、做成”がある。“成 2”には、次のような例文がある。

(20) 经过两个多月的努力，这件事情终于办成了。(35)

(二か月余りの努力を経て、この件をついに成し遂げた。)

### 3.1.6 定 <11>

“定”（固定する）の組み合わせ例としては、“打定、讲定、看定、买定、拿定、输定、说定、下定、咬定、住定、走定”がある。例文には、次のような文がある。

(21) 我们说定了，明天上午去长城。(120)

(私たちは、明日の午前中に万里の長城に行くことを約束した。)

### 3.1.7 住1 <32>、住2 <28>

“住”は、“住1”（固定する）、“住2”（止まる）の項目に分類されている。“住1”の組み合わせ例としては“扒住、把住、把持住、把握住、抱住、缠住、逮住、戴住、盯住、钉住、端住、摠住、扶住、钩住、糊住、记住、夹住、接住、揪住、看住、扣住、捆住、拉住、搂住、拿住、捏住、围住、粘住、抓住、拽住、捉住、坐住”がある。“住1”を用いた例文には、次のような文がある。

(22) 把孩子抱住，别摔着孩子。(389)

(子供をしっかりと抱いて、子供を落とさないように。)

“住2”の組み合わせ例としては“憋住、挡住、堵住、喊住、哄住、叫住、考住、克制住、拦住、勒住、愣住、瞒住、难住、卡住、劝住、煞住、收住、拴住、停住、拖住、问住、捂住、吸引住、降住、抑制住、遮住、止住、制止住”がある。“住2”を用いた例文は、次のような文がある。

(23) 服务员叫住他，告诉他刚才有人来找过他。(391)

(従業員が彼を呼び止めて、先ほど彼を尋ねて来た人がいたと告げた。)

## 3.2 方向や空間の移動を表す動詞

『搭配词典』には、一般には方向補語とされている動詞及びその派生義を表す動詞も含まれている。方向補語は動作が行われた結果ある方向へ向かうことを表すので、広い意味では結果補語と捉えられる。また、派生義の中には明らかに動作の結果の状態変化を表しているものがあるので、本論では結果補語とその派生義を結果補語になる動詞と見なした。方向の概念は幅広い動詞と結びつくので、これらの動詞の結合性は高い。項目別に挙げると、“出1”（出る）<60>、“出2”（現れる）<64>；“过1”（超える）<7>、“过2”（過ぎる）<11>；“进”（入る）<32>；“开1”（分離する）<48>、“开2”（開く）<23>、“开3”（～しだす）<33>、“开4”（広がる）<5>、“开5”（沸く）<2>、“开6”（(茶などの成分を)抽出させる）<2>、“开7”（収まる）<2>、“开8”（広げる）<1>；“起1”（起きる、上げる）<14>、

起 2” (～し終える) <4>、“起 3” (～し始める) <4>; “上 1” (上がる) <9>、“上 2” (～し始める) <22>、“上 3” (～し終える) <93>; “下 1” (下りる、落ちる) <15>、“下 2” (そのままにしておく、後にとどめる) <21>、“下 3” (収容できる余地がある) <5>がある。“出 1” を用いた例文には、次のような文がある。

(24) 我们恋恋不舍地搬出了已经居住了十年的旧居。(43)

(私たちは、後ろ髪を引かれる思いで 10 年住んだ家から引っ越した。)

“出 2” を用いた例文には、次のような文がある。

(25) 他们用麦秆编出了各种精美的工艺品。(47)

(彼らは、麦わらを用いて各種の精巧で美しい工芸品を編み上げた。)

“开 1” を用いた例文には、次のような文がある。

(26) 孩子们扒开草丛寻找蛐蛐儿。(204)

(子供たちは草むらをかき分けてコオロギを探す。)

“开 2” を用いた例文には、次のような文がある。

(27) 他急了，一脚就把门踹开了。(207)

(彼は苛立って、ひと蹴りでドアを蹴り開けた。)

### 3.3 一般的な動詞性結果補語① (瞬間動詞)

上記以外の一般的な動詞性結果補語には、多くの動詞と結合できるものと、少数の動詞とのみ結合するものがある。結果補語になる瞬間動詞は、“倒、到、掉、破、死、完、醒、走” など比較的結合性の高いものが多い。

#### 3.3.1 倒 1 <46>、倒 2 <5>

“倒” は“倒 1” (倒れる)、“倒 2” ((精神的に) まいる) の項目に分類されている。“倒 1” の組み合わせには、“按倒、扒倒、扒拉倒、绊倒、别倒、病倒、踩倒、蹭倒、冲倒、抽倒、锄倒、踹倒、吹倒、打倒、钝倒、蹬倒、跌倒、顶倒、摁倒、放倒、刮倒、跪倒、滑倒、晃倒、昏倒、击倒、挤倒、

砍倒、靠倒、哭倒、拉倒、摆倒、弄倒、扑倒、摔倒、躺倒、踢倒、推倒、卧倒、晕倒、砸倒、栽倒、震倒、拽倒、撞倒、醉倒”がある。“倒1”を用いた例文には次のような文がある。

(28) 我不小心把凳子踹倒了。(75)

(私はうっかりして腰掛けを蹴り倒してしまった。)

“倒2”の組み合わせには“驳倒、吃倒、难倒、问倒、吓倒”がある。例文としては、次のような文がある。

(29) 她以充足的论据、严密的推理，驳倒了对方。(78)

(彼女は十分な論拠と、綿密な推理で相手を言い負かした。)

### 3.3.2 到1 <128>、到2 <71>、到3 <55>、到4 <19>、到5 <13>、到6 <2>

“到”は“到1”（ある場所へ達する），“到2”（ある場所まで続く），“到3”（目的が達成する），“到4”（深刻な程度に達する），“到5”（一つになる），“到6”（～に関係する）の項目に分類されている。“到1”の組み合わせには、“安到、安排到、安置到、扒拉到、搬到、抱到、背到、奔到、绷到、蹦到、编到、拔到、藏到、蹭到、插到、搀到、沉到、盛到、吃到、冲到、传到、闯到、吹到、吹落、垂到、捶到、蹿到、存到、搭到、带到、滴到、递到、叨到、掉到、跌到、顶到、丢到、端到、堆到、踱到、躲到、发到、翻到、放到、飞到、分配到、分散到、扶到、夹到、赶到、告到、够到、挂到、拐到、贯彻到、贯穿到、灌到、逛到、滚到、轰到、红到、划到、画到、怀疑到、护送到、回到、挤到、寄到、嫁到、减少到、减退到、溅到、交到、揪到、开到、扛到、拉到、晾到、搂到、撩到、流到、轮到、落到、埋到、蔓延到、拿到、扭到、挪到、排到、派到、抛到、捧到、漂泊到、泼到、扑到、让到、绕到、扔到、撒到、塞到、射到、伸到、渗到、摔到、甩到、拴到、送到、缩减到、抬到、逃到、踢到、填到、跳到、退到、移植到、倚到、引到、游到、押到、栽到、种到、住到、拽到、转到、转业到、装到、撞到、走到”がある。例文としては、次のような文がある。

(30) 小猫蹿到窗台上，一下子把花瓶蹬倒了。(81)

(子猫は窓台に飛び乗るやいなや、花瓶を蹴り倒した。)

“到2”の組み合わせとしては、“挨到、熬到、罢到、剥到、保存到、辩论到、播到、唱到、持续到、出到、穿到、答到、等到、订到、读到、赌到、炖到、饿到、放到、负担到、盖到、干到、工作到、供应到、刮到、哄到、活到、坚持到、降到、教到、哭到、扩大到、劳动到、垒到、冷到、聊到、流传到、留到、遛到、忙到、绵延到、磨蹭到、闹到、念到、陪到、漂到、铺到、欺负到、烧到、深入到、使到、数到、睡到、躺到、推迟到、通到、拖到、挖到、玩到、下降到、歇到、写到、延期到、演到、增加到、站到、长到、追到、追溯到、赚到、坐到”がある。例文には、次のような文がある。

(31) 这孩子一直哭到半夜，真讨厌。(89)

(この子は夜中までずっと泣き続けて、本当に嫌になる。)

“到3”が結果補語の組み合わせとしては、“办到、抽到、触到、触及到、达到、打听到、钓到、分到、感觉到、感受到、搞到、估计到、观察到、捡到、见到、讲到、叫到、接到、接触到、借到、尽到、觉察到、看到、考虑到、练到、领到、买到、摸到、爬到、盼到、碰到、品尝到、普及到、起到、请到、拾到、收到、说到、提到、体会到、听到、闻到、问到、享受到、想到、选到、意识到、影响到、预感到、遇到、运到、遭到、找到、指到、注意到、做到”がある。例文には、次のような文がある。

(32) 我真希望抽到一个好签儿。(92)

(私は本当に幸運なくじを引き当てたい。)

“到4”が結果補語の組み合わせとしては、“逼到、贬到、病到、猜到、猜想到、炒到、迟钝到、筹备到、堕落到、恶化到、愤怒到、激化到、僵化到、烤到、老到、胖到、燃烧到、受到、脏到”がある。例文には、次のような文がある。

(33) 她愤怒到了极点，两手不自由地颤抖起来。(97)

(彼女は怒りが極限に達し、両手が思わず震え始めた。)

“到5”が結果補語の組み合わせとしては、“缠到、扯到、撮到、撮合到、归结到、汇集到、集中到、加到、拢到、拧到、拼到、谈到、攒到”がある。

“到6”が結果補語の組み合わせとしては、“关系、牵涉”がある。



### 3.3.3 掉 1 <44>、掉 2 <36>

“掉”は“掉 1”（落ちる），“掉 2”（なくす）の項目に分類されている。“掉 1”が結果補語の組み合わせとしては、“拔掉、掰掉、摆脱掉、剥掉、踩掉、蹭掉、扯掉、撒掉、锄掉、吹掉、打掉、摔掉、拽掉、颠掉、蹬掉、冻掉、剁掉、踩掉、咯掉、刮掉、滑掉、挤掉、剪掉、锯掉、拿掉、弄掉、刨掉、碰掉、撇掉、掐掉、去掉、甩掉、撕掉、剃掉、捅掉、脱掉、掀掉、削掉、笑掉、轧掉、咬掉、摘掉、撞掉”がある。例文には、次のような文がある。

(34) 他的草帽被风刮掉了。(114)

(彼の麦わら帽子は風に吹き落とされた。)

“掉 2”が結果補語の組み合わせとしては、“擦掉、拆掉、铲掉、吃掉、冲掉、处理掉、搓掉、倒掉、丢掉、抖掉、改掉、干掉、勾掉、关掉、花掉、划掉、砍掉、啃掉、赖掉、烂掉、溜掉、流掉、漏掉、卖掉、磨掉、抹掉、跑掉、清除掉、扔掉、删掉、烧掉、逃掉、涂掉、忘掉、吓掉、炸掉”がある。例文には、次のような文がある。

(35) 老师擦掉黑板上的字，然后让我们听写。(115)

(先生は黒板の字を拭いて消し、それから私たちに聞き取りをさせた。)

### 3.3.4 破 <30>

“破”（破れる）が結果補語の組み合わせとしては、“擦破、撑破、穿破、搓破、打破、戴破、刮破、喊破、划破、挤破、剪破、磕破、拉破、勒破、磨破、挠破、弄破、碰破、敲破、说破、撕破、踢破、捅破、洗破、笑破、咬破、用破、砸破、扎破、煮破、抓破”がある。例文には、次のような文がある。

(36) 冰雹把窗子上的玻璃都打破了。(259)

(ひょうが打ちつけて窓ガラスが全部割れてしまった。)

### 3.3.5 死 1 <39>

“死 1”は“死 1”（死ぬ）“死 2”（動かない）“死 3”（閉まっている）“死

4”（程度が極限に達している）の項目に分類されているが、“死1”のみを動詞として抽出した。“死1”が結果補語の組み合わせとしては、“崩死、逼死、踩死、撐死、刺死、打死、电死、吊死、钉死、冻死、毒死、饿死、干死、害死、早死、老死、累死、闷死、捻死、捏死、拍死、劈死、气死、掐死、呛死、杀死、烧死、射死、摔死、烫死、踢死、捅死、压死、淹死、咬死、砸死、战死、蜇死、揍死”がある。例文には、次のような文がある。

(37) 她把爬在身上的蚂蚁捏死了。(306)

(彼女は身体の上を這っていたアリをつまんで殺した。)

### 3.3.6 完 <103>

“完”（なくなる、終わる）が結果補語の組み合わせとしては、“扒完、拔完、搬完、办完、包扎完、备完、背完、比完、编完、编写完、变完、补完、参观完、查完、拆完、唱完、抄完、吵完、炒完、称完、吃完、冲完、打完（試合をする）、打完（電話を掛ける）、打完（草稿をつくる）、打扫完、读完、钓完、发完、翻译完、放完、放映完、分完、缝完、付完、改完、盖完、干完、割完、挂完、灌完、逛完、喝完、花完、划完、滑完、换完、回答完、寄完、讲完、教完、介绍完、锯完、开完（処方する）、开完（会議に出る）、看完、考完、捆完、扩建完、理完、练完、量完、买完、卖完、忙完、拟完、念完、判完、跑完、配完、评完、骑完、求完、取完、热完、烧完、收完、售完、说完、谈完、弹完、淘完、讨论完、填完、挑完、听完、玩完、洗完、削完、写完、卸完、修理完、学完、训完、演完、用完、炸完、招完、照完、整理完、织完、装完、做完”がある。例文には、次のような文がある。

(38) 今天上午在城里办完了事，又去看望了一位朋友。(322)

(今日の午前中に町で用事を済ませてから、友達を尋ねた。)

### 3.3.7 醒 <28>

“醒”（目覚める）が結果補語の組み合わせとしては、“扒拉醒、吵醒、吹醒、打醒、拖醒、颠醒、饿醒、刮醒、喊醒、急醒、叫醒、惊醒、咳嗽醒、

哭醒、弄醒、碰醒、敲醒、嚷醒、热醒、疼醒、推醒、吓醒、笑醒、吆喝醒、咬醒、砸醒、折腾醒、震醒”がある。例文には、次のような文がある。

(39) 你说话小声点儿，别把爸爸吵醒了。(348)

(お父さんを起こさないように、もう少し小さな声で話さない。)

### 3.3.8 走 <50>

“走”((ある場所から) 離れる) が結果補語の組み合わせとしては、“搬走、绑走、抱走、逼走、撤走、冲走、穿走、带走、戴走、叼走、调走、端走、放走、飞走、赶走、拐走、轰走、换走、挤走、寄走、架走、捡走、叫走、借走、倔走、开走、领走、溜走、买走、拿走、撵走、捧走、骗走、飘走、骑走、气走、抢走、请走、取走、劝走、送走、抬走、逃走、挑走、偷走、推走、要走、运走、支走、装走”がある。例文には、次のような文がある。

(40) 大雁到了秋天就飞走了，到暖和的地方去了。(397)

(オオカリは、秋になるとすぐ暖かい地方へ飛び立って行った。)

## 3.4 一般的な動詞性結果補語② (状態動詞)

結果補語になる状態動詞で比較的結合性の高いものには、“遍、病、够、惯、怕、晕”などがある。

### 3.4.1 遍 <40>

“遍”(あまねく行き渡る) が結果補語となる組み合わせとしては、“参观遍、查遍、尝遍、吃遍、传遍、串遍、吹遍、打听遍、得罪遍、翻遍、访问遍、逛遍、喊遍、检查遍、讲遍、看遍、骂遍、买遍、摸遍、拿遍、闹遍、爬遍、跑遍、欺负遍、敲遍、去遍、撒遍、试遍、耍遍、搜遍、搜查遍、掏遍、舔遍、挑遍、玩遍、闻遍、问遍、找遍、住遍、走遍”がある。例文としては、次のような文がある。

(41) 楼前楼后我都喊遍了，也没有找到孩子。(12)

(建物の前も後ろも隅々まで叫んで探し回ったが、子供は見つから

なかった。)

### 3.4.2 病 <12>

“病”が結果補語となる組み合わせには、“憋病、撑病、吹病、冻病、饿病、激病、浇病、累病、气病、捂病、洗病、吓病”がある。例文としては、次のような文がある。

(42) 他整天憋在家里，都憋病了。(16)

(彼は一日中家に閉じこもっていたので、気がふさいで病気になってしまった。)

### 3.4.3 够 1 <16>、够 2 <19>

“够”は、“够 1”（足りる、十分ある）、“够 2”（(一定の程度を超えて)嫌というほど（～する））の項目に分類されている。“够 1”が結果補語となる組み合わせとしては、“盛够、凑够、存够、打够、搁够、滑够、买够、闹够、上够、睡够、躺够、歇够、休息够、游够、攒够、招够”がある。例文には、次のような文がある。

(43) 咱们俩再打一会儿乒乓球把，我还没打够呢！（149）

(私たち二人でもう少し卓球をやろう、私はまだやり足りない！)

“够 2”が結果補語となる組み合わせとしては“尝够、吃够、穿够、呆够、带够、戴够、逛够、过够、看够、爬够、骑够、去够、受够、踢够、玩够、洗够、养够、站够、住够”がある。

### 3.4.4 惯 <23>

“惯”（慣れる）が結果補語となる組み合わせには、“熬惯、唱惯、吃惯、抽惯、穿惯、凑合惯、戴惯、当惯、冻惯、饿惯、过惯、看惯、叫惯、骑惯、睡惯、说惯、听惯、偷惯、写惯、用惯、站惯、住惯、走惯”がある。

(44) 他抽惯了好烟，这种牌子的烟他不会喜欢。(152)

(彼は良い煙草を吸いなれているから、この銘柄の煙草は好きじゃないだろう。)

### 3.4.5 晕 yūn1 <15>、晕 yūn2 <5>

“晕”は、“晕 yūn1”（めまいがする），“晕 yūn2”（失神する）の項目に分類されているが、“晕 yūn1”は状態動詞、“晕 yūn2”は瞬間動詞である。“晕 yūn1”が結果補語になる組み合わせとしては、“吵晕、抽晕、颠晕、搞晕、看晕、累晕、气晕、呛晕、热晕、晒晕、躺晕、震晕、支使晕、转晕、坐晕”があり、次のような例文が挙げられている。

(45) 我抽的烟太多了，头都抽晕了。(356)

(私は吸ったたばこが多すぎたので、頭がくらくらする。)

### 3.5 一般的な動詞性結果補語③（活動動詞）

結果補語になる活動動詞は少なく、動詞との結合性も限定的である。

#### 3.5.1 飞 1 <1>、飞 2 <1>

“飞”は、“飞 1”（飛ぶ），“飞 2”（ひらひら舞う、飛び散る）の項目に分類されている。“飞 1”の組み合わせとしては“吓飞”があり、次のような例文が挙げられている。

(46) 他猛地一拍手，把房顶上的鸽子吓飞了。(135)

(彼はぱちんと手を叩いて、屋根の上の鳩を驚かせて飛び立たせた。)

“飞 2”の組み合わせとしては“炸飞”があり、次のような例文が挙げられている。

(47) 轰地一声，巨大的山石被炸飞了。(136)

(どんと音がして、巨大な山の石が爆破されて飛び散った。)

#### 3.5.2 哭 <8>

“哭”（泣く）が結果補語となる組み合わせには、“打哭、逗哭、饿哭、急哭、骂哭、批评哭、说哭、吓哭”がある。例文として、次のような文が挙げられている。

(48) 听了这个可怕的故事，小女孩吓哭了。(217)

(この恐ろしい物語を聞いて、女の子は驚いて泣いてしまった。)

### 3.5.3 睡 <1>

“睡”（眠る）が結果補語となる例は、一例収録されている。

(49) 我好容易才把他哄睡, 你别把他吵醒了。(303)

(ようやく彼をあやして寝かせたのだから、騒いで彼を起こさないで。)

### 3.5.4 笑 <2>

“笑”（笑う）が結果補語となる組み合わせとしては、“逗笑、说笑”がある。次のような例文が挙げられている。

(50) 他的一句话把大伙儿都逗笑了。(346)

(彼の一言が皆を面白がらせて笑わせた。)

## 4 結果補語になる動詞の時相構造と VR 構文の意味構造

VR を内部の時間特徴（時相構造）から考察すると、V は動作の「始まり」を表し、R は動作の「終わり」を表す。動作の「始まり」を表すことのできる動詞群の時間特徴の形式を  $V_{\alpha}$ 、動作の「終わり」を表すことのできる動詞群の時間特徴の形式を  $V_{\beta}$  と表記すると、VR の時間特徴の形式は「 $V_{\alpha}$   $V_{\beta}$ 」と表記できる。この形式に基づくと、結果補語として機能する動詞は  $V_{\beta}$  の位置に生起できる動詞といえる。では、どのような動詞類が  $V_{\beta}$  の位置に生起できるのか。松村 (2017) は、 $V_{\beta}$  の位置に生起するのは、動作の「終わり」の計算プロセスを持つ  $V_{01}$  の動詞、すなわち瞬間動詞であると分析した。しかし、『搭配词典』の考察からわかるように、実際に  $V_{\beta}$  に生起する動詞には、瞬間動詞だけでなく、状態動詞、活動動詞も含まれる。これらの動詞内部の時間構造の形式は、状態動詞が  $V_{00}$ 、活動動詞が  $V_{10}$  である。 $V_{00}$  と  $V_{10}$  の形式の動詞は「終わり」の計算プロセスを持たないので、本来  $V_{\beta}$  として生起できないはずである。この矛盾をどのように捉えればよいのか。

#### 4.1 $V_{\beta}$ として生起する状態動詞 $V_{00}$

VRの結果補語としては動詞より形容詞が多く生起し、形容詞はほとんど選択制限がないと言ってよい。この事実から考えるならば、非動的(=静態的)で「始まり」と「終わり」を持たない  $V_{00}$  が  $V_{\beta}$  に生起できることには何ら矛盾はない。問題は、 $V_{00}$  の形式の述語がどのような原理で  $V_{\beta}$  に生起するのかということである。本論では、このことはVRを含む文の意味構造が使役構造であることと関係すると考える。状態動詞が結果補語となっているVRを含む文を、論理構造を用いて記述してみよう。

(51) 他整天憋在家里，都憋病了。(42)の再掲)

この文の“他憋病了”の部分を抽出し、論理構造を述語論理で記述すると次のようになる。

(52) 憋病' [他，他，憋' (他)&到' {憋' (他)，病' (他)}&有' {病' (他)，了}]

この式は「彼ガ、自分ニ、彼ガ気ヲフサギ、彼ガ気ヲフサグコトガ病気ニナルコトニ至リ、病気ニナルコトガ実現スルコトヲサセル」という意味を表す。文全体の関数となっている「憋病'」は「 $\sim$ ガ $\sim$ ヲ $\sim$ サセル」という意味を表す3項関数である。また式中の第3項( $\gamma$ )の第2式に現れている関数「到'」は「 $\sim$ ガ $\sim$ ニ至ル」という意味を表す2項関数であるが、語彙分解の述語で用いられている「BECOME」<sup>3)</sup>に相当する。つまり、VRを含む文の意味構造中では、「変化」の意味が成立しているといえる。そのため、時間概念を持たない  $V_{00}$  の述語もこの構造に入ることにより、変化後の状態の表すことができる。つまり、この文で結果補語“病”は、「病気でない状態」から「病気である状態」への状態の変化を表す。変化は「終息点」を持つので、この原理により  $V_{00}$  である状態動詞も  $V_{\beta}$  として生起できる。ただし、すべての状態動詞が  $V_{\beta}$  として生起できるわけではなく、そこには意味的な制限が掛かっている。制限の第一は、関係動詞のような完全な静態的動詞は、 $V_{\beta}$  として機能できない。第二は、“爱，喜欢”のような意志的な心理活動動詞も  $V_{\beta}$  として機能できない。これは、VRのRに求められる意味特徴が「非制御性」であるためである。

## 4.2 $V_{\beta}$ として生起する活動動詞 $V_{10}$

結果補語となる活動動詞の数は極端に少なく、動詞と結果補語の組み合わせも限定的である。そのため、これらの動詞は例外的動詞として扱うのが妥当かもしれないが、例外的であっても何らかの原理が働いているはずである。持続動詞が時相内の「終わり」として機能することのできる理由は、VRは結合後一つの動詞のように機能するが、結合後のVRは達成動詞(瞬間動詞)としての特徴を持つためであると考えられる。

(53) 大爷的那头黄牛死了两个月了。(龚千炎 1995:28)

(54) 那只杯子打破了好几天了。(龚千炎 1995:28)

(54)のVR“打破”は、(53)の瞬間動詞“死”と同様に時量補語を伴う場合には、動作の活動中の持続時間でなく、動作後の持続時間を表す。この現象からわかることは、瞬間動詞の時相軸上の「終息点」は、その時点から始まる持続の「開始点」でもあるということである。このような時間点の二重性と  $V_{\beta}$ は、何らかの関係があると予測できる。たとえば、活動動詞“哭”が現れている“听了这个可怕的故事,小女孩吓哭了。”において、“哭”はVR内の「終わり」と結果の持続の「始まり」の二つの時点として機能していると捉えることができる。

## 5 結びにかえて

VRの結果補語には、形容詞と動詞が生起する。これまでの研究において、ほとんどの形容詞が結果補語として用いられるのに対し、動詞は一部の限られた動詞に制限されていることが指摘されてきた。また、結果補語になる動詞は、主として非意思性の自動詞で、時間特徴としては[－持続]、すなわち瞬間動詞であると一般に認識されている。本論では、結果補語が実際に用いられている状況を把握するために、『搭配词典』に掲載されている言語データに基づき、形容詞と動詞の分布、結果補語になる動詞の下位分類及び結合性の差異の考察を行った。その結果、結果補語になる動詞の数は予測よりも多く存在し、下位分類の動詞の分布としては瞬間動詞が最も多く、瞬間動詞>状態動詞>動作動詞の順であることが確認できた。



結果補語として出現する動詞類の制限をより明確にするためには、さらに研究を進める必要がある。また、結果補語として生起する形容詞については、稿を改めて論述したい。

## 注

- 1) 龚千炎(1995)では、状態場面を構成する動詞として、関係動詞、心理活動動詞、姿態定位動詞が挙げられている。静態的な活動や状態を表していても、“愛”などの意志的で制御可能な「心理活動動詞」と“癩”などの非意志的で制御不能な「生理状態動詞」は異なる意味特徴を持つため、本論ではこれらを分けた。
- 2) 龚千炎(1995:16) 参照。
- 3) たとえば,killの語彙分解は次のような式で表記されている(方力:307)。  

$$\text{kill}' = \lambda x \lambda y [\text{CAUSE}(\text{BECOME}(\neg \text{alive}'(y)))(x)]$$

## 参考文献

### [ 中国語 ]

- 陈平 1988. 〈论现代汉语时间系统的三元结构〉,《中国语文》第6期。
- 陈巧云 2000. 〈动词做结果补语情况探析〉,《新乡师范高等专科学校学报》第14卷第3期。
- 戴耀晶 1991. 〈汉语后“了”的语义分析〉、〈动词后“着”和“过”的语义分析〉(第一章)、〈情状与动词分类〉(第二章), 胡裕树、范晓主编《动词研究》, 开封: 河南大学出版社。
- 邓守信 1985. 〈汉语动词的时间结构〉,《语言教学与研究》第4期, 第一届国际汉语教学讨论会讲话、论文选登。
- 龚千炎 1995. 《汉语的时相时制时态》。北京: 商务印书馆。
- 郭锐 1993. 〈汉语动词的过程结构〉,《中国语文》第6期。
- 郭锐 2004. 《现代汉语词类研究》。北京: 商务印书馆。
- 吕叔湘主编 1999. 《现代汉语八百词(增订本)》。北京: 商务印书馆。
- 李临定 2011. 《现代汉语句型(增订本)》。北京: 商务印书馆。

马庆株 1981. 〈时量宾语和动词的类〉,《中国语文》第 2 期。

马婷婷 2017. 〈结果补语对动词的选择限制探析〉,《牡丹江师范学院学报》第 2 期。

王媛 2011. 〈现代汉语动结式的进行体〉,《语言科学》第 10 卷第 1 期。

徐丹 2000. 〈动补结构中的上字与下字〉,《语法研究和探索(十)》。北京: 商务印书馆。

朱德熙 1982. 《语法讲义》。北京: 商务印书馆。

### [ 日本語 ]

バーナード・コムリー 1988. 『アスペクト』山田小枝訳。東京: むぎ書房。

石村広 2011. 『中国語結果構文の研究—動詞連続構造の観点から—』。東京: 白帝社。

影山太郎 2011. 『動詞の意味と構文』。東京: 大修館書店。

松村文芳 2017. 『現代中国語の意味論序説』。東京: ひつじ書房。

横山昌子 2016a. 「現代中国語の使役構文の意味研究」(博士論文)。神奈川大学。

横山昌子 2016b. 「現代中国語の使役を表す VR の論理構造」、『人文研究』No. 189:45-77。神奈川大学人文学会。

### [ 英語 ]

Chao, Yuen Ren. 1968. *A Grammar of Spoken Chinese*. Berkeley: University of California Press.

Comrie, B. 1976. *Aspect*. Cambridge University press.

### [ 辞書 ]

王还主编 1997. 《汉英双解词典》北京: 北京语言文化大学出版社。

王砚农・焦群・庞颀编 1987. 《汉语动词-结果补语搭配词典》。北京: 北京语言学院出版社。

王砚农・焦庞颀编 1984. 《汉语常用动词搭配词典》(英语注释)。北京: 外语教学与研究出版社。

孟琮・他编 1999. 《汉语动词用法词典》。北京: 商务印书馆。

中国社会科学院语言研究所词典编辑室 2016. 《现代汉语词典(第 7 版)》。北

京： 商务印书馆。

伊地智善繼編 2002. 『白水社中国語辞典』。東京： 白水社。